

平成 21 年 10 月 26 日

中学校教員向けキャリア教育推進用パンフレット 「自分と社会をつなぎ、未来を拓くキャリア教育 —中学校におけるキャリア教育推進のために—」について

このたび、国立教育政策研究所生徒指導研究センターにおいて、中学校におけるキャリア教育の推進に資するため、標記のパンフレットを作成し、全国の中学校、教育委員会等に配布することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 趣旨

このパンフレットは、現在、国において進められているキャリア教育の一層の推進を図るために、中学校の教員を主な対象として作成したものです。

中学校におけるキャリア教育の目標、効果的な進め方や配慮事項などについて、生徒に直に接する学級担任教員等の理解が深まることを意図して、図や例を用いて分かりやすく解説しています。

2. 主な内容と特長（詳細は別紙参照）

- ・ 中学校におけるキャリア教育の全体像
- ・ 各教科におけるキャリア教育
- ・ より充実した職場体験活動の進め方
- ・ 教育活動をキャリア教育の視点で「つなぐ」
- ・ データ編・資料編（新学習指導要領、関係法令等）
- ・ FAQ（9つ）

3. 学校、教育委員会等への配布について

11月中に各都道府県・政令指定都市教育委員会、各市町村・特別区教育委員会、国公立私立中学校等に配布し、併せて、国立教育政策研究所のホームページに掲載します。

【研究所ホームページ URL】 <http://www.nier.go.jp/>

（お問い合わせ）

国立教育政策研究所生徒指導研究センター

総括研究官 藤田晃之 電話：03-6733-6883（直通）

企画課長 大瀬勝寿 電話：03-6733-6879（直通）

企画課指導係 遠藤綾 電話：03-6733-6882（直通）

〔広報担当〕

総務部庶務課課長補佐 高井修 電話：03-6733-6911（直通）

■ 中学校におけるキャリア教育の必要性について

平成20年1月17日に出された中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」では、「今後更に、子どもたちの発達の段階に応じて、学校の教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育の充実に取り組む必要がある」とされました。これを受けて同年3月28日に改訂された中学校学習指導要領では、それぞれの教育活動の特性を生かしたキャリア教育の取組を求めています。

また、同年7月1日に閣議決定された「教育振興基本計画」においても、「今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策」の一つとして、「小学校段階からのキャリア教育を推進する」ことが挙げられています。

■ パンフレットの構成及び内容について

pp. 2-3 中学校におけるキャリア教育の全体像

「キャリア教育が目指すもの」「中学校におけるキャリア教育の目標」等を示し、中学校におけるキャリア教育の全体像を図を用いて解説

pp. 4-5 各教科におけるキャリア教育

各教科ごとに学習指導要領との関連や活動例を挙げ、各教科においてもキャリア教育を進める意義を示す

pp. 6-7 より充実した職場体験活動の進め方

事前・事後の学習例、直前・直後の指導例を示し、生徒を伸ばす充実した職場体験活動の進め方を掲載

pp. 8-9 教育活動をキャリア教育の視点で「つなぐ」

キャリア教育の視点から、それぞれの教育活動の学びや体験を、個々の学級担任・複数の教師・学校全体でつなぐ意義と実践例を掲載

pp. 10-13 データ編・資料編（新学習指導要領、関係法令等）

キャリア教育の推進の必要性を示す4つのデータ及び、学習指導要領の改訂、教育振興基本計画等の基本的資料を精選して掲載

pp. 14-16 F A Q

多くの中学校教員が抱くキャリア教育に関する疑問を9項目に絞り、それぞれについて簡潔な回答（解説）を掲載

- ・「従来の進路指導とキャリア教育はどう違うのですか」
- ・「職場体験などの活動をすることがキャリア教育ですか」 など

■ 今後の予定

今年度（平成21年度）の計画として、高等学校教員向けの同様なパンフレットの作成を予定しています。